

❖ 設計上のご注意 ❖

確認事項〈住宅構造・設備編〉

(ア) 床の構造と床暖房などの組み込み設備

床や床に組み込まれた床暖房等の設備機器が収納ユニットの重量により破損する恐れがないかどうかをご確認ください。

① 収納本体重量の目安

| | |
|---------------------|------------------------------------|
| 本体移動時 | キャスター1個あたり最大約45kg |
| 本体設置時 (キャスター収納時) | 約160kg (W1900×H2400) ※カスタムパーツなし |

② 床暖房

熱源一体型など、床暖房のタイプによりご使用いただくことができない場合がございます。

※ 住宅メーカー様または床仕上材メーカー様に、床の耐荷重をご確認ください。

【ご注意】

本製品は木製品です。
床暖房や冷暖房器具の影響で製品が変形し、使用上支障が起こる恐れがございます。
特に、床暖房が施設された部屋でご使用の場合は、かならず以下の点をお守りください。

- ⚠ 設置場所・設置予定場所付近はブランクパネルにする
(熱源を施設しない)
- ⚠ 間取り変更時は床暖房のスイッチを切る

(イ) 床仕上げ材の種類と強度

可動間仕切収納はキャスターで移動します。

① キャスター対応フローリング材以外の床材の場合

移動時、床がキャスターの車輪跡で凹んだりキズついたりする恐れがあります。

② コルクフロア、クッションフロア、カーペット、畳などやわらかい床仕上材の場合

移動時、収納ユニットが沈み込んで動かなくなる恐れがありますのでお使いいただくことができません。

③ 裏面にやわらかいバッカー材が貼られている遮音タイプのフローリング材の場合

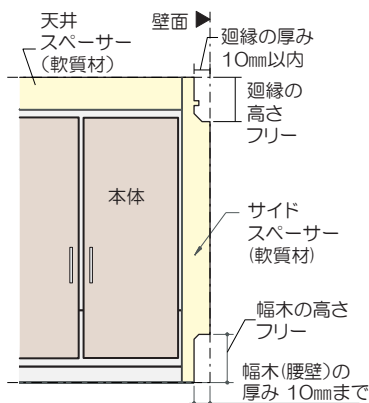
移動時だけでなく設置時(キャスター収納時)にも周辺の床全体が沈み込んだり、床板が割れる恐れがありますので、特にご注意ください。

※ 住宅メーカー様または床仕上材メーカー様にキャスター1個あたり45kg、最大160kg/1台のキャスター家具に床仕上材が対応可能かどうかをご確認ください。

(ウ) 造作材(幅木・廻縁・腰壁)など壁面から出ている部分の寸法

「可動間仕切収納」と壁との間に隙間があく場合があります。

- 収納ユニット側面と壁、天面と天井との間はサイドスペーサー・天井スペーサー(軟質材)で隙間なく納めることができます。
- 軟質材は造作材になじんで凹みますが、壁面からの出や高さが大きい場合納まらないことがあります。



| 標準対応可能寸法 | |
|---------------|-----------------------|
| 幅木・腰壁 壁見切り | 厚み: 10mm以下 高さ: フリー |
| 廻縁 | 厚み: 10mm以下 高さ: フリー |

※ 形状により厚み・幅が上記より大きくても隙間なく納まる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

確認事項〈室内構造・設計計画編〉

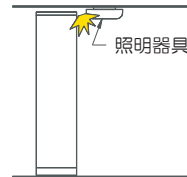
(ア) 照明器具の種類と位置

本体設置予定箇所に照明器具を配置しないでください。

◆ 移動時の事故防止のため、天井埋め込みタイプの照明器具をおすすめします

◆ ハロゲンランプの使用は避けてください。

ハロゲンランプは高温になるため、移動時に収納本体と接触した場合や、ハロゲンランプの至近距離に収納本体を設置した場合、収納ユニットが焦げたり発火して火災が発生する恐れがあります。



(イ) 空調の位置と空気が吹き出す距離や方向

◆ 直接エアコンから吹き出す冷風や温風が当たらない位置に設置してください

収納本体に、直接エアコンから吹き出す冷風や温風が当たると、変形、変質する恐れがあります。

(ウ) 火災報知器の位置

◆ 火災報知器から60cm以上離れた場所に設置してください

火災報知器が正しく作動しない恐れがあります。

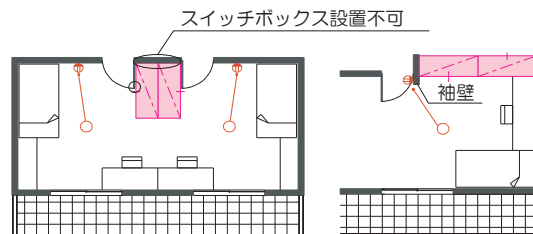
◆ 収納本体の移動時に、火災報知器と接触しないように注意してください

火災報知器が破損する恐れがあります。

(エ) スイッチボックスやコンセントの位置

◆ 照明などのスイッチボックスやコンセントと本体設置位置が重ならないように注意してください。

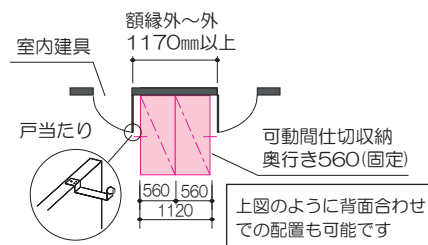
スイッチ操作やコンセントを使用する際、支障が出る場合があります。



(オ) ドア(建具)の開き勝手とドア間距離

◆ 設置予定場所近くのドアの位置と開き勝手に注意してください。

開いたドアが収納本体に当たる場合は、キズや破損の原因になりますので戸当たりを取付けてください。



(カ) 窓・カーテンレール・カーテンボックスの位置と寸法

◆ 窓に近すぎない位置に設置してください。

位置が近すぎる場合、収納本体の扉を開くとカーテンレールやカーテンボックスと扉が当たって全開にならない場合があります。

収納がカーテンレール等に干渉する場合があります。必ず寸法をご確認ください。

